

解答

- 問一 エ
- 問二 イ
- 問三 ウ
- 問四 ア
- 問五 誰かに見せてやりたくなる絵なんだよ
- 問六 他の誰にもまねできない絵が描けることをほめられてうれしかったが、自分がふつうじゃないかもしれないと不安になった。
- 問七 イ
- 問八 ア

二

- 問一 A エ C ウ
- 問二 I ア
- 問三 II (古今) 東西
- 問四 あやまった食生活
- 問五 (書店にある食生活と健康に関する本のほとんどが) 実際の食生活ではなく、食物や栄養素について書かれた(ものであるということ)。
- 問六 特別な食物や栄養素、魔法の食物を追い求めるより、毎日の食生活に目を向けること。
- 問七 エ
- 問八 I おにぎり
- 問九 2 うどん
- 問十 ア × イ × ウ ○ エ × オ ○

三

- 問一 ① 織〔る〕 ② 頂 ③ 気配 ④ 固有 ⑤ 口外 ⑥ 対照
- 問二 ⑦ すこ〔やかな〕 ⑧ かえり〔みる〕 ⑨ わこうど ⑩ かんばん
- 問三 ① ウ ② オ

解説

一

- 問一 ——線部①の後から理由がわかります。絵に強いとか弱いとかがあるなんて、その時まで聞いたことがなかったため、筆圧を注意されたと思ったという内容から、選択肢エが選べます。
- 問八 ——線部⑧の前後に着目すると、ぼくという人間は、ぼくしかないということを教えてくれた小池先生の言葉を、とても気に入って、胸の中で大切に、ときどき思い出している様子がわかります。県大会で四位どまりでも、美術展で落選しても誇らしい気分であることから、「自分は誰よりも優れている」という記述を含む選択肢アがふさわしくありません。

二

- 問五 ——線部②の前に着目すると、筆者の心配していることがわかります。本のほとんどが、「○○さえ食べれば病気は治る」といったもので、あたかもその食物、その栄養素さえ食べれば、すべての病気は解決するといわんばかりであるという内容から、選択肢イが選べます。

問十

本文の中盤から、筆者は、コマーシャルやテレビ番組などの影響を受けておかしな食生活をしている人も少なくないことを心配していることがわかるので、選択肢ウは○になります。また選択肢オも、本文の最後に書かれている内容と同じことを言い表しているので○になります。その他の記述は本文の内容に合いません。